



視察団の質問に答える池田取締役(左端)

## G物流、韓国から視察団

### エコトラック 国際交流に一役

【大阪】エコトラック(池田治子社長、大阪府門真市)は7日、同社を訪問した韓国統合物流協会(ソク・テス会長)のメンバーに大型CNG(圧縮天然ガス)トラックを使った長距離輸送などを紹介し、グリーン物流で国際交流に二役買った。

同協会には韓国の運送会社や物流事業者、荷主企業、学識経験者などが加入。今回、日本のグリーン物流の

現状を視察するため、メンバー12人が来日した。池田社長らがCNG車の導入メリット、大型CNGトラック開発の経緯、荷主企業と共同で取り組む長距

離輸送などについて解説。この後の質疑応答では「CNGの充てん所は国内に何か所あるか」「国内でのCNG車の比率は」「韓国ではCNGバスの爆発事故があった。安全性は大丈夫なのか」といった質問が出された。

池田雅信取締役は、1つひとつの質問に細かく答えるとともに、「大型CNGトラックの開発はもうかる仕事ではない。しかし、低公害車を使った輸送を经营理念に掲げる当社の使命と考えている」と説明した。

(小栗 史和)